

※ **36** 産業振興の体制強化

第5編 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

第1章 地域経済を支える産業の振興

第1節 産業振興の体制強化

第2節

第3節

第4節

■ 目指す姿

産業を担うリーダーや人材が育ち、製造業・商業・観光業・農林業など全ての分野で業種を超えて広域的に結び付き、地域の経済活動が活発に行われています。

■ 現状・課題

- 新興国の台頭や円高などの影響により、国内の経済は未だ先行きが不透明な状況です。
- 都では、多摩地域における産業集積・産業交流の促進を重点施策として掲げ、都域を超えた産業交流拠点の本市での整備を予定しています。
- 市は、国・都・近隣自治体、大学、産業支援機関などと連携して産業振興をすすめています。
- 企業OBを中心としたビジネスお助け隊などが地域産業の活性化のために積極的に参加しており、市はこれらの人材が有効に機能するためのコーディネーターの役割が求められています。

■ データ

Blank box for data input.

■ 関連する個別計画、条例

Blank box for related plans and regulations.

(イラスト等)

■ 施策の展開（課題解決に向けて必要なこと）

<p>1 産業振興にかかわる機関との連携</p> <p>●商工会議所・産業支援機関・市がそれぞれの強みを活かしながら連携し、地域経済の活性化をはかります。</p> <p>●国や都と連携し、支援制度や産業振興施策を展開します。</p>
<p>2 産学公連携の推進</p> <p>●事業者が抱える技術革新などの課題を解決するため、市のコーディネートにより事業者・産業支援機関・大学などとの連携を推進します。</p>
<p>3 産業交流拠点の整備・促進と連携</p> <p>●広域的な交流を活かした産業支援・情報発信・異業種交流をすすめるために、東京都が明神町（産業技術研究所八王子支所跡地）に建設を予定している「広域的産業交流の中核機能を担う産業交流拠点」の整備を促進します。</p>
<p>4 人材の発掘と育成</p> <p>●産業の活性化やまちづくりに積極的ににかかわる人材の発掘・育成に努めます。また、リーダーとなる人材の育成や人的ネットワークの形成をすすめます。</p>

■ 行政の役割

- ◇関係機関や都・国との連携による産業振興策の推進
- ◇産学公連携の推進
- ◇産業の活性化を担う人材の育成

■ 市民への期待

地域の産業支援機関や大学などとの連携に関心を持つ（事業者）

■ 目標設定（施策に対する指標）

施策に対する指標名	現状値	目標値		指標の意図及び説明
		平成29年度	平成34年度	
市内の産業活動が活発に行われていると感じている市民の割合	平成23年度 25.1%	32%	40%	商業や観光業、農業、工業など多様な事業者による産業の活気の度合いをはかる指標です。産業活動が活発に行われていると感じている市民の増加を目指します。
法人市民税の伸び率	平成22年度 市1.13 (全国1.10) (指数)	全国の伸び率を 0.04 0.05		産業の活性度をはかる指標です。全国の法人市町村民税の伸び率を上回ることを目標とします。
		上回る		

(図解等)

※ **37** 企業支援

第5編 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

第1章 地域経済を支える産業の振興

第1節

第2節 企業支援

第3節

第4節

■ **目指す姿**

社会状況の変化や企業のニーズを踏まえた支援により、多くの企業が立地しています。また、地域の産業を支える中小事業者が地域で活発に経済活動を営んでいます。

■ **現状・課題**

●企業誘致によって企業が進出し、税収や雇用確保に結び付いています。今後も、誘致を推進していくためには対象業種の検討や企業へのインセンティブの充実など、制度の見直しや情報発信が必要です。

●現在ニュータウン地区をはじめ、市内では企業立地がすすんでいます。今後、さらに企業誘致をはかるためには、新たな業務用地の確保が必要です。

●市は圏央道の延伸などにより、交通の要衝の地という強みがさらに増し、流通拠点としてのポテンシャルも高まっています。

●市内の約2万事業所の9割強を占める中小事業者の多くは、経済・社会情勢の影響を受けやすく厳しい経営環境にあります。

●中小企業は、自社のみで解決することが困難な課題も抱えており、中小企業の経営を安定化し効率的な経営を実現するための支援が求められています。

■ **データ**

Blank box for data.

■ **関連する個別計画、条例**

Blank box for related plans and regulations.

(イラスト等)

■ 施策の展開（課題解決に向けて必要なこと）

<p>1 企業誘致の推進</p> <p>●社会状況の変化や企業のニーズに対応した企業誘致制度の見直しを行い、今後も企業誘致や市内企業の移転・拡張を支援し、新たな雇用の創出や税収の確保をはかります。</p> <p>●新たな企業の誘致や市内企業の流出を防ぐため、既存の業務用地の継続的活用や新たな業務用地の確保に努めます。</p>
<p>2 中小事業者支援</p> <p>●中小事業者や個人事業者の経営改善・販路拡大などの課題を解決をするため、商工会議所・産業支援機関・企業OBなどの経験豊富な人材と連携します。</p> <p>●景気の影響を受けやすい地域の中小事業者の資金需要に迅速に応えるため、事業資金融資助成制度を充実していきます。</p>
<p>3 流通機能集積の推進</p> <p>●交通の要衝である本市の特性を活かし、新滝山街道周辺地区や圏央道八王子西インターチェンジ周辺地区への流通機能の集積を推進します。</p>

■ 行政の役割

■ 市民への期待

<p>◇企業誘致及び既存企業の移転・拡張の支援</p> <p>◇中小事業者の業績向上に向けた支援策の推進</p> <p>◇市の特性を活かした流通機能の集積</p>	-
---	---

■ 目標設定（施策に対する指標）

施策に対する指標名	現状値	目標値		指標の意図及び説明
		平成29年度	平成34年度	
企業誘致制度により誘致した企業数	平成23年度 60件 (累積)	90件 (累積)	125件 (累積)	企業支援に対する市の取組の度合いをはかる指標です。企業誘致制度による立地件数の増加を目指します。

(図解等)

※ **38** 就労環境の整備

第5編 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

第1章 地域経済を支える産業の振興

第1節

第2節

第3節 就労環境の整備

第4節

■ 目指す姿

企業支援や新たな産業の創出などにより地域における雇用が生まれ、職住近接など働きやすい労働環境が整い、誰もが生き活きと安心して働いています。

■ 現状・課題

●経済の先行きが不透明な状況であることから、本市においても地域の実情に応じた雇用対策や労働環境の整備が求められています。

●少子化の進行により、生産年齢人口は今後大幅な減少が見込まれ、将来の労働力不足が懸念されます。

●全体の求職者は求人を上回っていますが、中小企業の中には求人が集まらないといった“雇用のミスマッチ”が発生しています。また、就職しても短期間で離職してしまう“早期離職”が問題となっています。

●若年者の就労環境は厳しい状況であり、就労意欲はあっても就職できない、あるいは、不安定な非正規雇用である若年者が増加しています。

●ひきこもりやニートの若者への対応が、社会の活力を維持するうえで課題となっています。

■ データ

Blank box for data input.

■ 関連する個別計画、条例

Blank box for related plans and regulations.

(イラスト等)

■ 施策の展開（課題解決に向けて必要なこと）

<p>1 雇用・就労支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ●企業誘致の推進やコミュニティビジネスなど新産業の事業化支援を通じて、新たな雇用を促進します。 ●ハローワークをはじめとする労働関係機関や地域の企業と連携して、就労機会の提供及び雇用のミスマッチの解消に努めます。 ●新たな労働力の確保のため、女性・高齢者などの就労を支援します。 ●国・都の制度を活用した中小企業への雇用支援など、本市の経済・雇用情勢に合った雇用対策を推進します。
<p>2 若者などの雇用・就労促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地元企業や大学などと連携し、学生や外国人留学生を含む若年者への市内企業の紹介やインターンシップなどにより雇用のミスマッチの解消に努めます。 ●ひきこもりやニートの若者への就労のきっかけづくりを関係機関と連携し促進します。
<p>3 労働環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ●企業・勤労者の双方に対して労働に関する法制度の意識啓発や周知に努め、勤労者が働きやすい環境づくりを促進します。 ●中小企業が勤労者を対象とする福利厚生事業を充実できるよう、働く環境の改善をはかります。

■ 行政の役割

■ 市民への期待

<ul style="list-style-type: none"> ◇雇用の創出と雇用のミスマッチの解消 ◇若者の就労支援・就労機会の促進 ◇労働者が働きやすい環境づくりの促進 	<ul style="list-style-type: none"> ◇市内在住者の雇用に心掛ける（事業者） ◇ワークライフバランスの促進など労働環境を整備する（事業者）
--	---

■ 目標設定（施策に対する指標）

施策に対する指標名	現状値	目標値		指標の意図及び説明
		平成29年度	平成34年度	
就職率	平成29年度 22.3%	25%	28%	国・都との連携による、雇用・就労支援の取組の度合いをはかる指標です。「ハローワーク八王子」と「しごと情報館」を合わせた就職率を10年後には全国の5か年平均値まで向上させることを目標とします。
市のかかわる就職支援活動による採用者数	平成29年度 824 人/年	920 人/年	1,000 人/年	雇用・就労支援への市の取組の度合いをはかる指標です。市がかかわる就職支援活動により、採用に結び付いた人数です。多くの方が正社員として採用されることを目指します。

(図解等)

※ **39** 高度な技術の集積を活かした産業振興

第5編 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

第2章 まちの活力を創出する産業

第1節 高度な技術の集積を活かした産業振興

- 第2節
- 第3節
- 第4節

■ 目指す姿

高度な技術力を持つ多くの製造業や情報通信産業が地域経済を活性化させ、首都圏西部の産業・経済の拠点となっています。

■ 現状・課題

●我が国の経済・産業を支えてきた製造業は、製造拠点の海外移転や新興国の台頭などの影響を受け、国際競争力が低下しており、より高度な技術の開発や製品の高付加価値化が課題となっています。

●国や都は、技術革新などによる国際競争力の強化を促進しています。都では、多摩地域の中小企業が有する高度な技術や研究機関などの集積を活かした、産学連携・企業間連携のさらなる推進を掲げています。

●市には優れた技術力を持つ中小の製造業や情報通信産業が集積しています。一方で、技術水準の高度化や人材の確保と育成など、独自に解決することが困難な課題に直面しています。

●市は企業間連携の促進や人材育成など、中小企業への支援を展開していく「首都圏情報産業特区・八王子」や、企業の共同研究や技術面の相談などに対応する「先端技術センター」での取組をすすめています。

■ データ

Blank box for data.

■ 関連する個別計画、条例

Blank box for related plans and regulations.

(イラスト等)

■ 施策の展開（課題解決に向けて必要なこと）

1 製造業・情報通信産業の振興

- 経営基盤の強化や新技術開発などの支援を通じて、市場の変化に対応できる企業力の強化をはかります。
- 市内の製造業や情報通信産業の技術水準の向上など国際競争力の強化を目指し、本市の産業集積を活かしながら、産業交流拠点を活用した広域的な企業活動や産学連携・企業間連携を支援します。
- 製造業や情報通信産業にかかわる企業の人材育成や人材確保の機会を創出するために、大学と企業の連携を強化します。
- 産業の基盤となる情報通信技術を活用して、製造業などの振興をはかります。

■ 行政の役割

■ 市民への期待

- ◇ 技術水準の向上に対する支援と人材の育成
- ◇ 情報通信技術を活用した産業の振興

-

■ 目標設定（施策に対する指標）

施策に対する指標名	現状値	目標値		指標の意図及び説明
		平成29年度	平成34年度	
中小製造業の市内事業所数の伸び率	平成22年度 市0.96 (全国0.95) (指数)	全国の伸び率を		中小製造業による地域活性度をはかる指標です。全国の伸び率を上回ることを目標とします。 ※「中小製造業」とは、従業員数が4人から299人までの事業所を指します。
		0.02	0.03	
		上回る		

(図解等)

※ **40** **新産業の創出**

第5編 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

第2章 まちの活力を創出する産業

第1節

第2節 新産業の創出

第3節

第4節

■ **目指す姿**

環境や医療・介護分野などの新たな事業に取り組む多様な事業者が本市に集まり、市内で様々な技術・製品が開発され、新たなサービスも生まれています。

■ **現状・課題**

●地域経済が成長し新たな活力を創出するためには、新たな事業に取り組む事業者の支援や起業者・創業者を増やしていくことが求められています。

●市は商工会議所や多くの産業支援機関と連携しながら、新産業分野に取り組む企業への支援を実施しています。しかしながら、新産業分野への進出は課題も多く事業化は容易ではありません。

●地域や市民生活に関わる課題への対応や地域を活性化するため、コミュニティビジネスへの支援が求められています。

■ **データ**

Blank box for data input.

■ **関連する個別計画、条例**

Blank box for related plans and regulations.

(イラスト等)

■ 施策の展開（課題解決に向けて必要なこと）

<p>1 起業・創業者支援</p> <p>● 起業・創業に必要とされる知識やノウハウを提供するとともに、企業の成長段階に応じてきめ細やかな支援を行います。</p>
<p>2 新産業分野の事業創出支援</p> <p>● 環境や医療・介護などの新産業分野に取り組む事業者に対して、大学や産業支援機関と連携しながら技術的課題の解決や経営支援を行います。</p> <p>● 社会や地域の課題解決に向け、コミュニティビジネスの事業化の支援を行います。</p> <p>● 新たな事業を開拓する事業者を支援するため、都が整備する産業交流拠点を活用するなど、広域的・多様な産業の交流を促進します。</p> <p>● 新産業の創出のため、事業化や販路開拓に向けた支援を行います。また、新技術の開発のために技術的な課題解決や情報通信技術の活用を促進します。</p>

■ 行政の役割

■ 市民への期待

<p>◇ 起業・創業及び成長段階に応じた支援</p> <p>◇ 新産業に取り組む事業者・団体に対する支援</p>	
--	--

■ 目標設定（施策に対する指標）

施策に対する指標名	現状値	目標値		指標の意図及び説明
		平成29年度	平成34年度	
新設事業所数の伸び率	平成21年度 市0.42 (都0.36) (指数)	都全体の伸び率を		市内での新規事業の展開のしやすさをはかる指標です。都全体での伸び率を上回ることを目標とします。
		0.07	0.08	
市の支援策により創業した人の起業後3年の事業継続率	平成22年度 90%	90%以上		起業・創業者支援に対する市の取組の度合いをはかる指標です。毎年90%以上の事業継続率を目標とします。

(図解等)

※ **41** にぎわいにつながる産業の振興

第5編 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

第3章 まちの魅力を向上させる産業

第1節 にぎわいにつながる産業の振興

第2節

第3節

第4節

■ **目指す姿**

にぎわいを創出する観光産業や商業が活性化し、何度でも訪れたいくなるまちとして中心市街地などが多くの人でにぎわい、まちが活気にあふれています。

■ **現状・課題**

●まちのにぎわいの核となる中心市街地には、商業施設が集積しています。一方で、百貨店などの大型商業施設が撤退し、新たなにぎわいの創出が望まれています。

●市内各所の商店街は、活力ある地域づくりを支える重要な担い手として期待されていますが、商店街の集客力向上や空店舗の活用などが課題となっています。

●年間300万人を超える高尾山の観光客に、中心市街地などへ足をのぼしてもらうことが望まれています。

●市は観光をPRするため、外国語観光パンフレットを作成し外国人観光客の誘致を推進してきました。

■ **データ**

■ **関連する個別計画、条例**

(イラスト等)

■ 施策の展開（課題解決に向けて必要なこと）

<p>1 中心市街地活性化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●産業交流拠点整備や八王子駅南口周辺のまちづくりと連携して、中心市街地活性化を推進します。 ●ビジネスやイベント・展示会などに訪れる人を買物・観光・飲食などにつなげるおもてなしの取組を商業者や市民とともにすすめます。 ●まちや商店街の活性化につながる、空店舗・空フロアの活用をすすめます。
<p>2 商業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域づくりを支える担い手として商店街が実施する活性化に向けた取組や、地域の課題解決に向けた取組を支援します。 ●IT事業者などと連携し、商店街や魅力的な個店をPRする仕組みづくりをすすめます。 ●魅力ある個店づくりに向け、意欲ある事業者を育成します。 ●意欲的に取り組む事業者のグループ化をはかり、商業を活性化するための取組を支援します。
<p>3 観光地の魅力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高尾山や中心市街地などに多くの人を訪れやすい環境を整えるなど、魅力を高める取組をすすめます。 ●観光情報を国内外に広く発信して、観光ボランティアと協働しながら本市の魅力をPRすることで、観光客誘致に努めます。 ●海外友好交流都市などとの交流を通じて、より多くの外国人観光客の誘致をはかります。

■ 行政の役割

■ 市民への期待

<ul style="list-style-type: none"> ◇中心市街地の活性化と空店舗対策の推進 ◇商店街や魅力ある商店の活性化支援 ◇観光地としてのPR推進と観光客誘致政策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◇市内にどのような商店などがあるか知る ◇買い物はなるべく市内でするよう心掛ける ◇魅力ある店舗について身近な人に伝える ◇市内の観光スポットを知り出かけてみる
---	---

■ 目標設定（施策に対する指標）

施策に対する指標名	現状値	目標値		指標の意図及び説明
		平成29年度	平成34年度	
年間商品販売額の伸び率	平成19年度 市0.95 (全国1.02) (指数)	全国の伸び率を 0.01 0.01		商業の活性度をはかる指標です。卸売・小売業の年間商品販売額の伸び率が、全国の伸び率を上回ることを目標とします。
		上回る		
観光客数	平成23年度 301万 人/年	339万 人/年	383万 人/年	にぎわいを創出する観光地としての魅力をはかる指標です。高尾山や八王子城跡などを訪れる観光客の増加を目指します。

(図解等)

※ 42 地域資源を活用する産業の振興

第5編 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

第3章 まちの魅力を向上させる産業

第1節

第2節 地域資源を活用する産業の振興

第3節

第4節

■ 目指す姿

地域資源の新たな魅力を活かすことで観光産業・農業・林業の振興がはかられています。また、農業の担い手の育成や農地の有効活用により、都市型農業が確立しています。そして、八王子ブランドの創出により、まちの魅力が高まっています。

■ 現状・課題

●本市は豊かな自然や八王子城跡・滝山城跡などの歴史資産に恵まれています。今後は、こうした史跡の活用とともに、新たな観光資源の発掘が求められています。

●市は27億円を超える都下随一の農業生産高を誇っていますが、耕地面積は年々減少し、また、農家は後継者不足や獣害被害などの問題を抱えています。

●市は地産地消による都市型農業を推進するため、農家の後継者育成、11か所の農家直営農園の整備促進、道の駅・農産物直売所の設置などをすすめています。

●まちおこしの観点から、名産品・観光資源・農林畜産物などを活用した地域ブランドの創出が求められています。

●林業は、木材価格の低迷や従事者・後継者不足などの課題があり、産業として継続が困難な状況にあります。

■ データ

■ 関連する個別計画、条例

(イラスト等)

■ 施策の展開（課題解決に向けて必要なこと）

<p>1. 新たな観光資源の発掘・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新たな魅力を活かした観光資源の発掘や活用を行い、広く情報を発信してまちのにぎわいや産業の創出につなげます。 ● 地域にゆかりのある人物やいわれなどをテーマにした、地域活性化につながる新しい観光スタイルを発信し、八王子の魅力を提供します。
<p>2. 都市型農業環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 産業として自立した農業を確立するため、魅力ある農作物の生産や安定供給を支援します。また、地産地消を推進するため、道の駅などで安全・安心な農作物を提供していきます。 ● 農業を継続するための後継者育成や援農ボランティアなどにより、高齢者世帯の農家を支援します。 ● 農地の有効活用のため、資源循環型社会を視野に入れた遊休農地の活用や農地の貸し借りができる制度を推進します。また、獣害被害の軽減のため、農地のパトロールや農家への防除指導を実施します。 ● 市民が農業にふれあう機会を確保するために、市民農園の整備や親子農業体験を実施します。
<p>3. 林業の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国・東京都・林業団体・所有者と連携し、森林の保全や機能回復などをはかります。 ● 林業への理解を深め、また、八王子産の木材を普及・啓発するため、間伐材の活用をすすめます。
<p>4. 地域ブランドの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 観光資源や農林畜産物、その他の地域資源を活用した八王子ブランドの創出をすすめます。 ● 地域に対するイメージの確立や地域の活性化のため、地域の名産品の発掘や開発を促進します。

■ 行政の役割

■ 市民への期待

<ul style="list-style-type: none"> ◇ 観光資源の発掘と八王子の魅力の情報発信 ◇ 遊休農地を活用した農業振興策の推進 ◇ 農作物の安定供給と地産地消の支援 ◇ 森林の保全・機能回復と間伐材の活用 ◇ 八王子ブランドの創出と名産品の発掘・開発 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 気になるまちの情報を収集し出かけてみる ◇ 地元の農作物を購入する ◇ 八王子らしさを売りにした店を身近な人に紹介する
---	---

■ 目標設定（施策に対する指標）

施策に対する指標名	現状値	目標値		指標の意図及び説明
		平成29年度	平成34年度	
農業産出額	平成21年度 27億9,000万 円/年	28億4,600 万円/年	29億300 万円/年	市の農業の活性度をはかる指標です。今後5年間ごとに約2%ずつ増加させることを目標とします。
八王子産の農産物を常に意識して購入している市民の割合	平成21年度 27.5%	40%	55%	市における地産地消の推進の度合いをはかる指標です。10年後には現状の倍とすることを目標とします。

(図解等)